資料 2-3

2026（令和８）年度（速報版） ヒグマの出没状況および特記事項について

１．ヒグマ目撃・対応件数等

令和 8 年 4 月 1 日～7 月 31 日分

	斜里町	羅臼町	標津町	合計
目撃件数	526 （451）件	39 （67）件	33 （63）件	598 （581）件
対応件数	409 （272）件	63 （77）件	34 （65）件	506 （414）件
有害捕獲頭数	10 （10）頭	3 （3）頭	2 （6）頭	15 （19）頭

※ ()内は前年度同期（令和 7 年 4 月 1 日～7 月 31 日）の数値
対応件数は電気柵の維持管理作業等を除く

【町別のヒグマ目撃・対応件数の推移】

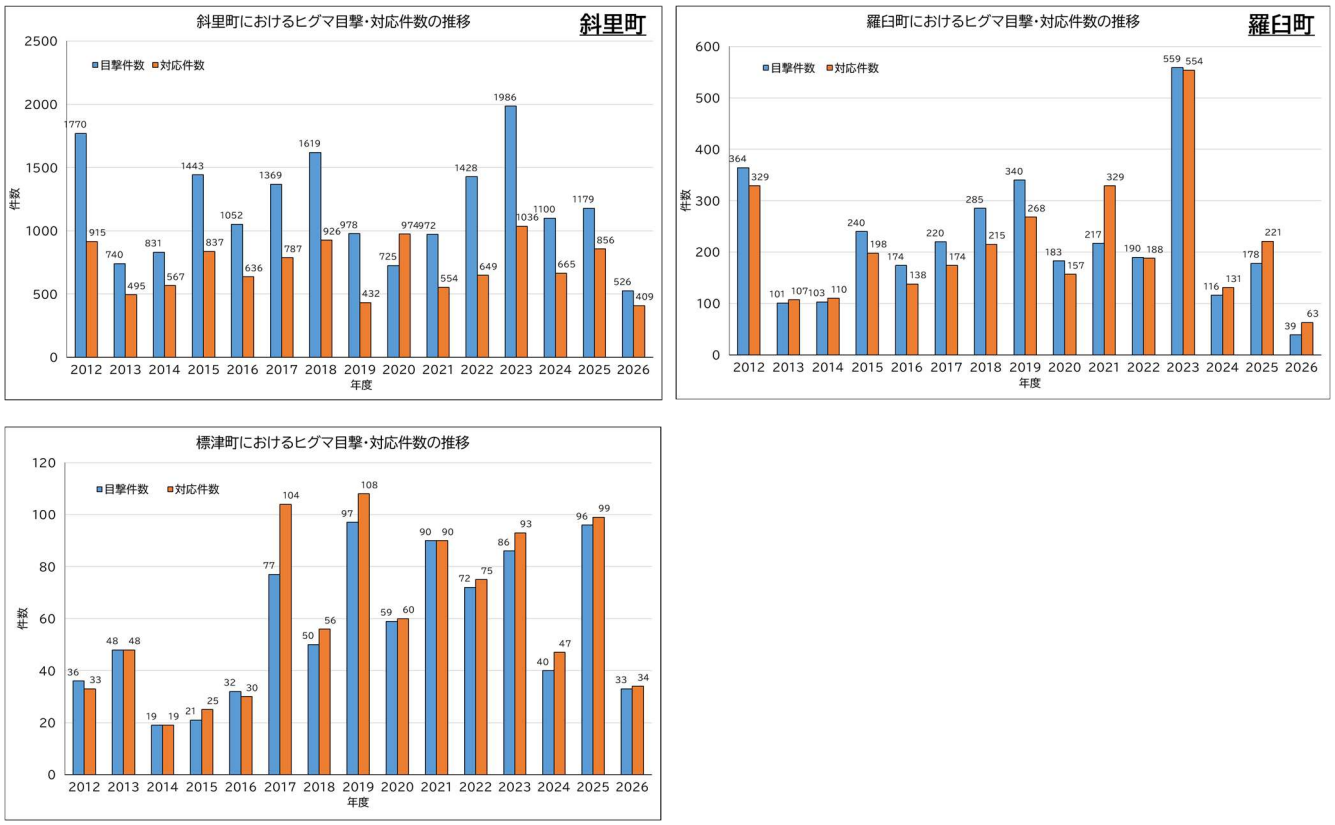


図 1. 町別のヒグマ目撃・対応件数の推移（2012-2026 年度）　※ 2026 年度は 7 月末時点の数値

【市街地（ゾーン 4）ヒグマ出没件数の推移】

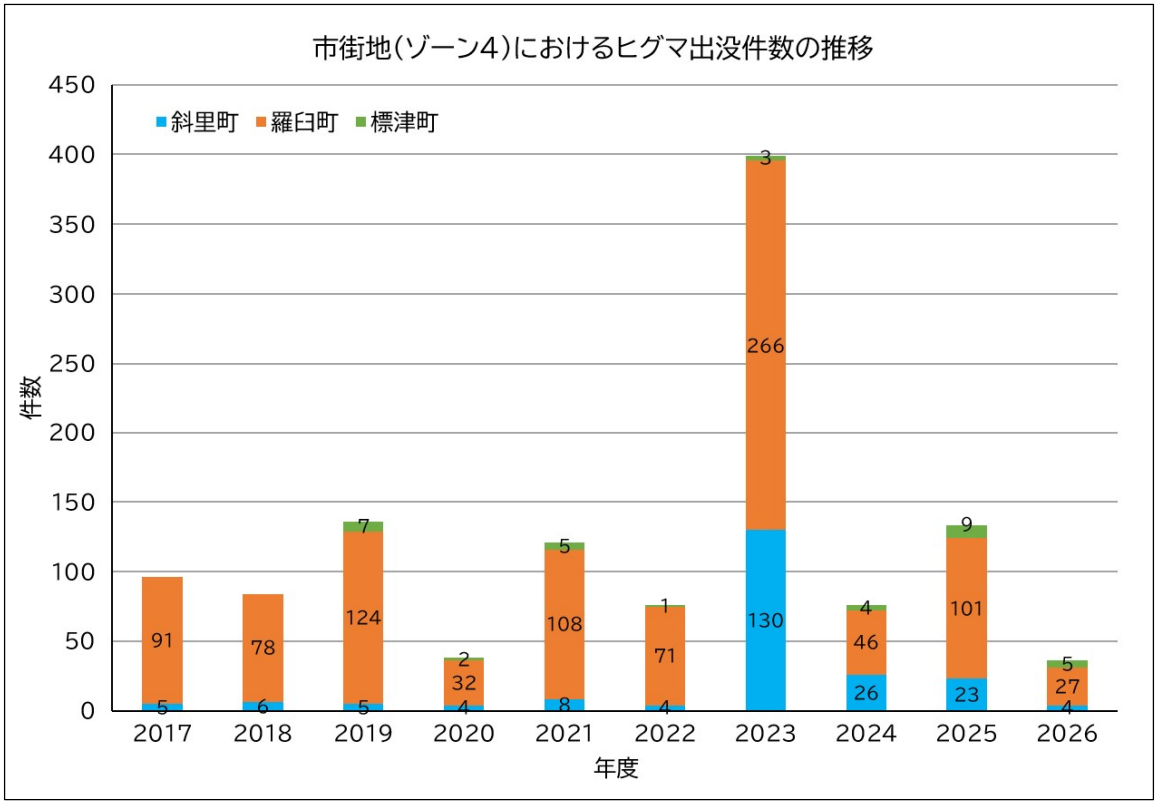


図 2. 市街地（ゾーン 4）ヒグマ出没件数の推移（2012–2026 年度） ※ 2026 年度は 7 月末時点の数値

【ヒグマ有害捕獲数の推移】

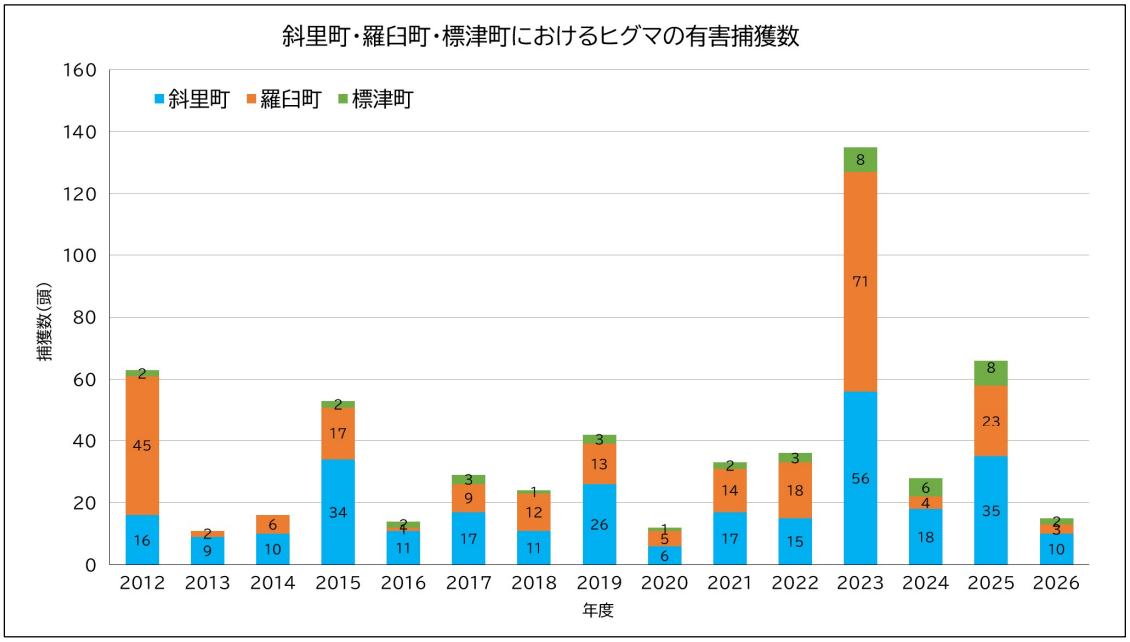


図 3. ヒグマ有害捕獲数の推移（2012–2026 年度） ※ 2026 年度は 7 月末時点の数値

２．主なトピック

・ 冬眠明けのヒグマ出没状況については、斜里町は前年同期と比較して目撃・対応ともに高い水準、羅臼町と標津町は前年同期と比較して目撃・対応ともに低い水準であった。

・ 昨年度の羅臼岳におけるヒグマ人身事故を受け、知床連山登山道および羅臼湖にて新たな登山対策を開始した。

３．各町のヒグマ出没・対応状況

【斜里町】

① 斜里町におけるヒグマ目撃件数は 7 月末時点で計 526 件、対応件数は 409 件であり、いずれも昨年度の同時期に比べ多い状況。

② 5 月上旬から 6 月下旬にかけて、岩尾別温泉道路にて行動段階 1＋の識別個体(18SH05)が出没を繰り返し、公園利用者との間で軋轢が発生した。当該個体は捕殺の判断がなされたが、7 月以降の動向は不明となっている。

③ 5/12 日の出大橋にてヒグマに過度に接近したレンタカーが、ヒグマの防衛反応による攻撃で後部バンパーを破損する事案が発生した。その後、5/15 に知布泊漁港番屋に接近し有害駆除された個体と DNA が一致した。

④ 5/31 森づくりの道開拓小屋コースを散策していた一般利用者が、見通しの悪いカラマツ林内でセミを掘っていた単独亜成獣サイズのヒグマと近距離で遭遇し、ブラフチャージを受ける事案が発生した。以降、セミの採食が続いているためコースの閉鎖を継続している。

⑤ 6 月上旬からカムイワッカ園地にて行動段階 1＋の問題個体 2 頭の出没が多発した。そのため、6/23-26 で道道公園線の一部区間を通行止めのうえ有害駆除を実施し、問題個体 1 頭（識別個体:CY）を捕殺した。

⑥ 7/9 羅臼岳オホーツク展望付近にて、一般利用者がヒグマに追いかけられクマ撃退スプレーを噴射する事案が発生した。知床連山の全ての登山道を閉鎖し、計 2 回の現地調査の結果をふまえ、7/16 より閉鎖を解除した。

⑦ 7/25 知床横断道路にて単独亜成獣サイズのヒグマとバイクの接触事故発生。バイクの破損は軽微、ヒグマは左前脚を負傷。その後動向不明。

【羅臼町】

① 羅臼町におけるヒグマの出没・対応状況は、7 月末時点で目撃件数 39 件、対応件数 63 件となり、いずれも前年度同期と比較して低い水準で推移しているものの、5 月下旬からは市街地（ゾーン 4）での目撃、痕跡の確認が増加傾向にある。また、有害捕獲された 3 頭はいずれもゾーン 4 で捕獲されており、市街地を中心とした警戒が必要な状況である。

② 5 月 30 日未明、峯浜町の国道 335 号線において、観光客の乗用車とヒグマの交通事故が発生した。運転者の目撃情報によると、0 才 2 頭連れの親子のヒグマであり、そのうち 0 才のヒグマ 1 頭が車両と衝突した。本事故により、衝突した個体の死亡が確認されている。

③ 町内 3 箇所において自動撮影カメラを設置し、AI によるヒグマの自動識別・検知機能システムの運用を行っている（3 年目の運用）。本システムは高い識別精度を有しており、ヒグマ検知時には関係者へ随時（概ね 10 分以内）通知される仕様となっている。出没状況をリアルタイムに把握することにより、対策員の迅速な現場対応に寄与している。



④ ヒグマの出没予防を目的として、町内会主催（協力：羅臼町、知床財団）による草刈りを実施した。今年度は町内 9 地区（ほか 1 地区は雨天中止）において、町民および地元建設事業者など延べ 112 名が参加し、過去の出没地点やフキの繁茂箇所等を中心に刈払いを行った。今年度から新たに実施主体となった町内会もあり、地域主体の出没予防体制が進んでいる。





【標津町】

① 市街地（ゾーン 4）におけるヒグマの出没（痕跡情報を含む）は、7 月末時点で累計 5 件（前年同期は累計 5 件）となっており、市街地（ゾーン 4）へのヒグマの侵入は昨年と同じ結果となっている。

② 海岸漂着したトド死骸が起因となり、付近の番屋や住宅近くでたびたび目撃され、有害駆除を実施した。

③ 相変わらず町内の海岸にトドの死骸が多く漂着し、それに誘引されたと思われる個体が出没している。6 月に駆除した個体は、海岸付近住宅前に出没しており、周辺でトドの死骸が確認され、駆除後に処理した。

④ 7 月 15 日に川北小学校にて、17 日に標津小学校にて、それぞれ１・３・５年生を対象にヒグマ学習を実施した。